

# 2020年度の学校評価について

## (学校関係者評価委員・学校評議員より)

※ 氏名・役職、文章の一部は割愛させていただいています

### ◇ A 委員

#### 【今年度全般を振り返って】

はじめて体験するコロナ禍での学校運営。そこには、いつ、コロナが爆発的に蔓延するかという恐怖のなかでの、「臨時休校」や「分散登校」「行事の削減」あるいは、授業時間削減のための、「教材の精選」という対応処置であったかと思います。

時代の流れの中で、ITCなども活用され、こどもたちの学力の低下を防ぐために、先生方も様々な工夫をされながら、個々の子どもたちを育て、そして「よりよい学校づくり」を目指した一年だったと、子どもたちだけでなく、保護者や、地域の方々から伺うこともありました。

また、「逗子小だより」をはじめ、学校からのきめ細かな情報発信により、子どもや保護者の方々は、学校生活におけるコロナ対策を具体化することができたのではないかと思います。また、「消毒」などへの親御さんの参加、学校をささえている様子もうかがえました。

評価ということでしたら、「何が起こるかわからないコロナ禍の一年」を、様々な方の支援をいただきながら、無事乗り越えた。

そう考えて、評価するなら「A」ということではないでしょうか。「校長先生はじめ、教職員の皆様、本当にお疲れ様でした」と、心より申しあげたいと思います。

ただ、心配なのは、「コロナ終息」後の、子どもたちのことです。コロナが流行っているときには、様々なことでがまんを強いられていた、子どもたちの心に、その影響や、後遺症が残らないかということです。震災後にも言われたことですが、「心のケア」が必要になってくる子、あるいは状況が生まれてくる可能性もあるので、より以上に、一人ひとりの子によりそった指導が必要になってくると思われまます。これから先、おかしい行動をとった子がいた時、その子がどうしてそのような行動をとったのか、「コロナ体験」をふまえて考えるような状況が、うまれてくるのではないかと心配もしています。

また、学習時間の「短縮」に、よって、目に見えないところで、そのひずみが生まれているのではないかという心配です。

特に、本年度、入学した一年生にとっては、はじめての、学校生活でした。はじめての集団での「授業」でした。本来ならば、一人ひとりの名をよびあって、たくさんの対話の中での学校生活がおくられるはずでした。「ものや」「こと」とむすびつけて丁寧にしなければならない「かな文字」の指導。書かれた文章を一字一字たしかめながらする文章の読み方、そして、書かれていることがらを、正確にとらえて、それについての気持ちや、考えをつくりだすこと。あるいは、自分の、気持ちや考えを、文字で、文章に書く機会なども少なかったのではないかと思われまます。

算数では、これまで、足し算、引き算の計算ができる(計算技能)だけでなく、「数の概念」、

そして、なぜ足すのか、なぜひくのか、問題文の読み取りなどを、ていねいに、時間をかけてやってきていましたが、こういった指導に、時間がかけられなかったら、そうしたひずみが、上の学年でも出てくる可能性があります。

掛け算の意味、分数、少数の意味を本来なら丁寧に教えるところですが、限られた時間の中での指導だと、計算の仕方だけに指導が集中し、学習に遅れが目立つお子さんには、分数の意味、少数の意味が十分に理解できずに終わってしまっていることもあるのではないのでしょうか。

例をあげたら、キリがありませんが、「コロナ禍」での、一年は、何とか超えられたけれど、「学習の基礎」の部分に、時間をかけられなかったことが気になります。

今後、「コロナが学習に与えた影響」について、ここ数年間は、引き続き追求していかなければならないのではないかと考えています。

## ◇ B 委員

### 【教育環境の充実について】

#### ① 学校安全の推進について

コロナウィルス感染予防のために、教室のみならず学校全体の消毒や子どもたちの手指消毒、益子の着用等ご指導のご苦勞が多下あったことと思います。保護者アンケートの回答から見ても70%近い保護者のご理解が得られていることは学校側のご尽力に対してご理解が進んでいるものと解釈いたしました。

#### ② 教育情報化の推進

GIGA スクール構想への準備が徐々に進みつつあることは望ましいことであると同時にリスクについて子どもたちに理解させることは非常に大切であると感じますので今後このことについてのご指導を十分にさせていただければ幸いです。

### 【学習指導の充実】

今年度は当初から、新型コロナウイルスの感染拡大で、授業日数の減少や、授業参観等、多様な行事が実施できなかったことと思います。特に保護者にとって授業参観は、わが子の様子だけでなく、他児の様子、クラスの雰囲気などを理解する貴重な機会であり、加えて行事では子どもたちの成長の姿を見る絶好の機会ですが、それが予定通りできなかったことは先生方にとっても残念な思いを持たれたと思います。家庭教育と学校教育のバランスをとるためにも、学校内での子どもの様子を見ることは保護者にとって必要であることを改めて感じます。

### 【支援の充実】

幼保小の連携推進については、小学校に進学する年長児にとってコロナの感染予防で「ようこそ集会」など小学校を見学する機会がなかったことは残念に思いますが、これは致し方ないことと思います。

### 【学校組織の充実】

#### ④ 働き方改革の推進について

学校の先生方の就業時間や待遇については、どのようなことが問題視され、改善が望まれているのか具体的には存じ上げませんが、どこでも問題に上がるのが「長時間労働」「心身の不調」「保護者対応の難しさへの苦慮」等かと思われそうですが、いずれの改革にも大ナタを振るわなければなりません、1校だけの問題ではありませんので行政の協力を仰ぐことが求められると思います。

### ◇ C 委員

#### 【教育環境の充実について】

コロナで大きな影響を受ける中、児童の安全を考えながらも充実した授業を行うには例年以上のご苦勞があったと思います。日課表はよく練られ工夫されたもので、その中には休み時間の「密」の回避策により、校庭等で児童が思い切り活動できたこと、手洗いにより他の流行病減少等、コロナ後にも生かせるものが多いように感じました。

#### 【学習指導の充実】

休校時の児童への課題対応、休校後の授業・行事計画には、先生方の子どもたちの愛を感じました。もちろん様々な行事が中止となり、残念に思うこともありましたが、子どもたちが代替行事等について嬉しそうに話していて、今できることを精一杯行ったださる先生方の気持ちを受け止める姿が印象的でした。「その時代をどう生きるか」コロナの今だからこそ児童に伝えることができた貴重な一年だったように思います。

#### 【支援の充実】

支援が必要な児童や保護者に対して、今年度はより大きな支援が求められた年であったと思います。ふれスクで気になる児童について学校と共有する時間を持ったことは、同じ方向性で児童に対応でき、とてもありがたくたいへん良い機会となりました。

児童にとって地域との連携は大切で、児童がスムーズに学校生活が行えるよう地域の一員として今後もあり続けられたらと思っています。

#### 【学校組織の充実】

日々子どもたちと接している中で、学校の先生方に大きな信頼を寄せている言動を多くの子どもたちから感じるがあります。学校存在のすばらしさを、休校を通じて感じる年でもありました。

児童数が多い逗子小学校において、学校・学級運営はたいへんだと思いますが、大規模校ならではの利点を生かし、様々な方が児童一人ひとりに関わり、社会性を身につける場所となるよう期待しています。

## ◇ D 委員

### 【教育環境の充実について】

近年、登下校時に大雨が降ることが多くなったと感じています。下校時など先生方見守りに出られていることもあるようです。レーダーアメダスなどを活用し、臨機応変に登校時間・下校時間をずらすことも必要になっていくのではと思います。入学時にそのような説明を保護者にするとういと思います。

### 【学習指導の充実】

コロナ休校でICTを活用した教育が一気に進んだという印象です。今まで、学校の授業のほとんどは先生と黒板と教科書・ノート・自分と友達でしたが、学習環境の中にタブレットやパソコンが入ってきて、子どもたちも喜んでいることと思います。何よりよいと思うことは、小学生から情報モラルの教育等ができることです。小学校高学年くらいからいきなりスマホが与えられ、ほとんどゲームやSNS、ユーチューブなど「楽しすぎるおもちゃ」に支配されてしまう子どもも多いと思います。学習に使用するツールとして活用していくところがスタートになるのはとても良いことだと思います。「保健だより」などで、「眼」や「脳」に与える悪影響を知らせていくのもよいではないでしょうか。

### 【支援の充実】

個々に合わせた支援となれば、人が足りないのでしょうか。学校がさまざまな機関と連携してよりよい支援をと努力され停ることがよくわかりました。地域の中でも「見守り」や「声掛け」などできるよう努力していきたいと思います。不登校の児童がオンラインで学校と繋がれるということもとても良いと思います。

### 【学校組織の充実】

地域の中で世代交代の時期が来ています。大切にされてきた「お祭り」などの行事を引継ぎ継承していく難しさを感じています。逗子小の良さを残しつつ、新しい風を入れ、いつまでも生き生きとした子どもたちの姿が見られる「逗子小」であってほしいと思います。

## ◇ E 委員

### 【教育環境の充実について】

コロナ禍の中、やれなくなってしまったことが多かったと思いますが、知恵を絞り行動へと移していったと思います。保護者の協力を得て、学校生活の環境を整えられたことはよかったですと思います。これからの「コロナ禍」での活動に向けて、いろいろな角度から様々な取り組みに調整して行ってほしいと思います。

### 【学習指導の充実】

ICT機器の活用で「情報モラル」を早いうちに学べる環境があるということはとても良いこ

とだと思ふ。家庭によって活用の幅が違ひ、とても慣れている子とそうでない子がいると思ふので、ぜひ足並みをそろえて活用ができるようになることを願ひます。

#### 【支援の充実】

支援ニーズを持つ児童が増えているというのは、先生方はたいへんご苦勞されていることと思ひます。保護者がそのことに対して認め、支援を受けたいという気持ちにならないと踏み出せないところもあるかと思ひます。

予算上、すぐに人をつけられない厳しさがあると思ひますが、まずは保護者との信頼関係を大事にしてもらいたいと思ひます。幼・保・小・中ともっともっと連携を深くし、支援が途切れないようなつながりを確保していただきたいと思ひます。

#### 【学校組織の充実】

市の中で一番児童数が多い学校なので、先生同士の情報共有はたいへんとは思ひますが、学年・もしくは兄弟で問題行動等があるときは、些細なことでも担任一人で抱え込まず、共有・相談できる環境を作って行ってほしいです。「コロナ禍」において、制約も多く、先生方のご負担も増えたことと思ひますが、外部や保護者にも協力体制を求めてほしいと思ひます。

### ◇ F 委員

#### 【教育環境の充実について】

コロナによる制限の中、読み聞かせスペシャルやウインタースクールなどの子どもたち向けのイベントが開催できて感謝しています。

#### 【学習指導の充実】

次年度、コロナの状況次第ではあるかと思ひますが、スポーツテストの実施をお願いします。

#### 【支援の充実】

相談室の充実、スクールカウンセラーが来てくださる時間をどんどん増やしていただくことが可能でしたらお願いしたいと思ひます。

### ◇ G 委員

#### 【教育環境の充実について】

交通量の多い信号への交通整理員さん(リタイアしたご老人や地域の方のボランティアなど)を配置していただきたいと思ひます。保護者が、朝に旗振りをするのは負担が大きいです。

#### 【学習指導の充実】

今は、コロナ禍のため難しいですが、状況が許されれば外部から講師を招いて体験授業

などを増やしてほしいです。また、子どもたちが外に出向く体験活動もできたらやっていただきたく思います。

#### 【支援の充実】

「相談員さん」や「うるおいフレンドさん」の復活を希望します。

## ◇ H 委員

今年度は、コロナに振り回されて行事等の中止・縮小で残念なことが多くありました。にもかかわらず、先生方のお力で子どもたちがいつもと違った形の多くの経験ができたことは素晴らしいことと思います。また、健康観察も徹底されていたので、安心して児童の受け入れができましたこと感謝しております。行事の中止が続きましたが、代替えで素晴らしいものが多く思い出に残るものばかりだったように思います。今年度は、スローでゆったりとした中で、落ち着いて他人の話が聞ける、やさしく接することのできる子どもが多かったように思いました。